



目標—指導—評価の一体化のための学習評価

中学校音楽のポイント



中学校音楽における単元の学習評価について、単元の目標及び「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成から評価の総括までの一連の流れを具体的な事例をもとに説明します。

下記の題材を例に紹介します。

題材名	内容のまとまり
歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう(第2学年)	[第2学年及び第3学年] ・「A表現」(1)歌唱及び[共通事項](1)

中学校音楽科における「内容のまとまり」は、以下の4つ。

- I 「A表現」(1)歌唱及び[共通事項](1)
- II 「A表現」(2)器楽及び[共通事項](1)
- III 「A表現」(3)創作及び[共通事項](1)
- IV 「B鑑賞」(1)鑑賞及び[共通事項](1)

①題材の目標、評価規準を作成する流れ

【Step1】 学習指導要領「第2学年及び第3学年の目標及び内容」の記載事項を確認します。
(ここでは内容のまとまり「A表現」(1)歌唱及び[共通事項](1)を例に紹介します。)

【音楽科における事項の示し方】

全項目共通で

ア…思考力,判断力,表現力等に関する内容 イ…知識に関する内容 ウ…技能に関する内容 について示されている。

知識及び技能	思考力,判断力,表現力等	学びに向かう力,人間性等
イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり [共通事項] イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能歌う技能	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。 [共通事項] ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。 ※内容には、「学びに向かう力,人間性等」について示されていないことから、該当学年の目標(3)を参考にする。

【Step2】 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成します。

知識・技能については

- ① 事項イ及び事項ウの「次の(ア)及び(イ)の部分に、学習内容等に応じて、(ア)、(イ)のいずれかまたは両方を選択して置き換える。
 - ② 文末を「～している。」と変更する。
- ※「B鑑賞」においては、技能の設定はない。

思考・判断・表現については

- ① 【共通事項】アの文末を「～考え」と変更し、事項アの文末を「～している。」に変更する。
- ② 事項アの前半の「知識や技能を得たり生かしたりしながら」は「内容のまとまりごとの評価規準」としては設定しない。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 ・ 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能歌う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 <p>※必要に応じて学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。</p> <p>「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」より選択して書き換える</p>

※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』の巻末資料に「内容のまとまりごとの評価規準(例)」が記載されています。

[Step3] 「題材の目標」を作成します。

題材名 「歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう。」
 内容のまとめり [第2学年及び第3学年]「A表現」(1)歌唱及び[共通事項](1)

○題材の目標

- (1) 「荒城の月」、「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 「荒城の月」、「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特性や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。

[Step4] 題材の評価規準を作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 「荒城の月」、「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>思 「荒城の月」、「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特性や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

「歌唱」「器楽」「創作」から選択して置き換える。

内容のまとめりの評価規準（[共通事項]アの冒頭）「音楽を形作っている要素」の部分には、音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの中から、その題材の学習内容を踏まえて適切に選択して置き換える。

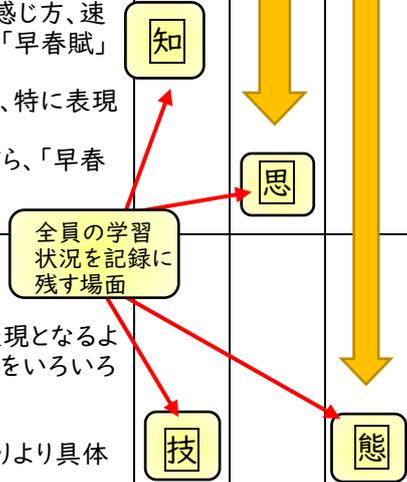
②指導と評価の計画を立てる

観点別の学習状況を記録に残す場面等を精選するためには、題材の中で適切に評価を実施できるよう、指導と評価の計画を立てる段階から、評価する場面や方法等を意図的・計画的に考えておくことが重要です。記録に残さない場面でも教師の指導改善や生徒の学習改善に活かすために、生徒の学習状況を確認することは重要です。

指導と評価の計画（全4時間）

時間	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
1	<p>◎「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいなどに関心をもち、</p> <p>○「荒城の月」、「早春賦」の歌詞の内容や曲想に関心をもち。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「荒城の月」、「早春賦」それぞれの1番について、歌詞を音読したり歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などをワークシートI-①に書く。 ・書いたことを基にして学級全体で発表し合い、他の生徒の意見でよいと思ったことをワークシートI-①に書き加える。 <p>○「荒城の月」、「早春賦」の音楽の特徴の相違点などに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの曲を歌い比べながら、それぞれの音楽について気付いた特徴をワークシートI-②に書く。 			
2	<p>◎「荒城の月」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じるとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。</p> <p>○「荒城の月」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「荒城の月」を歌ったりCDを聴いたりして、リズム(拍子)、速度、旋律(音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシートII-①に書く。 <p>○「荒城の月」について知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽の特徴と歌詞の内容とを関わらせて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートII-①に書いた「音楽を形づくっている要素」と「感じ取ったこと」を線で結び、適宜、書いた内容を修正する。 ・歌詞の内容をワークシートII-②に端的に書き、音楽の特徴と歌詞の内容との関わりも意識して、「荒城の月」を歌う。 			

3	<p>◎「荒城の月」と対比しながら、「早春賦」のリズム(拍子)、速度、旋律、強弱などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するとともに、音楽表現を創意工夫する。</p> <p>○「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。</p> <p>○「荒城の月」と対比するなどして、「早春賦」のリズム(拍子)、速度、旋律(音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、「早春賦」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現を追求する。</p> <p>・「早春賦」について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて意見交換をする。その際、ワークシートⅠ、Ⅱに書いた内容を振り返って「荒城の月」と対比したり、楽譜(旋律、歌詞、記号など)を手掛かりにしたりする。</p> <p>・知覚したことと感受したこととの関わりについて考えたことを基に、6/8拍子の感じ方、速度、音のつなげ方やフレーズの捉え方、強弱などを変えて様々に歌い試しながら、「早春賦」にふさわしい音楽表現について考える。</p> <p>・どのように歌うかについての思いや意図をワークシートⅢの1の楽譜に書き込み、特に表現を工夫するポイント(理由も含む)をワークシートⅢの2に書く。</p> <p>・ワークシートⅢに書いたことを発表し合い、グループや学級全体で歌い試しながら、「早春賦」にふさわしい音楽表現について共有する。</p>	知	思	
4	<p>◎創意工夫を生かして「早春賦」を歌う。</p> <p>○創意工夫を生かした表現をするための歌い方を追求する。</p> <p>・前時で取り組んだ音楽表現の創意工夫を想起しながら、曲にふさわしい音楽表現となるように学級全体やグループで、発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などをいろいろと試す。</p> <p>○思いや意図をもって「早春賦」を歌う。</p> <p>・どのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートⅢに加筆修正する。</p> <p>・思いや意図と発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。</p> <p>○題材における学習を振り返る。</p> <p>・「荒城の月」と「早春賦」を学級全体で歌い、学習全体を振り返り、歌詞の内容、曲想、音楽の構造などに触れながら、学んだことをワークシートⅣに書く。</p>	技	態	



③「どのような姿を見取ることができればいいのか」評価規準を生徒の姿で捉える

知識・技能



音楽科における「知識」は楽譜を記したワークシートに記述した内容などで評価することが考えられます。

「技能」はグループごとに歌ったり、演奏したりする場面をつくり、演奏の聴取から評価したり、グループ練習の過程や発表の際の演奏の聴取から評価したりすることが考えられます。また、個人やペア、グループでの活動の際に、部分的にフレーズを取り出して聴取するなど、学習形態を工夫し、実態に合った方法で評価することも大切です。

生徒の記入例

【ワークシートⅡ】

「荒城の月」				
	拍子:	速度:	旋律の音のつながり方 やフレーズ:	強弱:
① 音楽の 特徴	4/4拍子	ゆ、く、り、た 速さ	音の上がり下がりが多い ・一息が長い、大きなまとまり ・ほとんどの音がとなりの音に つながっていく	mf ・クレシェンド ・デクレシェンド が多い
② 歌詞 の内容	・月はいままで変わらないが、人の世は変わってしまう ・昔は采っていたが、今は荒れ果ててう気がなくなっていた			

感じたこと

- ・力強い感じ
- ・ゆ、たりして緊張感がある
- ・どこか悲しい感じ
- ・声に迫力がある
- ・感情がこもっている感じ

「おおむね満足できる」状況(B)と判断するポイント

【知識】

- ・感じ取った曲想と音楽の構造に関わる要素の表れ方、歌詞の内容等を書き、それぞれの関係性をおおむね妥当に捉えることができているか。
- ・楽譜に書き込まれた言葉や記号などから、曲の雰囲気や表情、味わいなどが、どのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているのかを捉えていることが見て取れるか。

【技能】

- ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能について学習した内容が歌唱表現に表れているか。

「努力を要する」状況(C)への支援

- ・「荒城の月」と「早春賦」の雰囲気の違いなどについて対話しながら、速度を変えた演奏を聴かせるなどして、雰囲気の違いが音楽を形づくっている要素の働きによって生み出されていることに気付けるようにする。

「思考力、判断力、表現力等」は授業中に発揮するものですので、授業中の発言や話し合いなどの活動の様子、楽譜を記したワークシートに記述した内容、演奏の聴取等から評価の情報を収集します。

生徒の記入例

【ワークシートⅢ】

1 感じ取ったことやどのように歌うかについての思いや意図

古丸 一昌 作詞 / 中田 章 作曲

「早春賦」
 喜びややさしさを感じながら、6/8の流めによって。
 1ははるはなのみのかぜのさむさやーた
 旋律が上がる。一気に高まるように。

5 フレーズを大切に、落ち着いて。少し不安な感じも。
 にのうぐいすうたはおもえどーど

9 旋律の動きが変わる。くを生かしてはっきりと。
 きにあらずとこえもたーてずーど

13 歌詞のくり返しを、Pでいかに伝える。
 きにあらずとこえもたーてずーど

残食な気持ちでppやrit.に込めて。

「おおむね満足できる」状況(B)と

判断するポイント

- ・「早春賦」にふさわしい音楽表現を追求する場合において、どのように工夫して歌いたいかについて発言したり歌い表そうとしたりしているか。
- ・感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、どのように歌いたいかについて、自分なりの思いや意図を書いているか。

「努力を要する」状況(C)への支援

- ・「荒城の月」と「早春賦」の雰囲気の違いなどを基に、生徒とともに「早春賦」を速度やブレスの位置を変えて歌うなどしながら、「早春賦」から感じ取った雰囲気にふさわしい表現について対話し、思いや意図がもてるよう促す。

主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」については、行動観察を中心に、ある場面に限定して実施するのではなく、題材を通じて行い、継続的に学習状況を把握し学習改善や指導改善に生かすようにする一方で、学習状況を記録に残す場面については、最後にのみ設定し、学習の振り返りの記述の内容を加味して評価していきます。

生徒の記入例

【ワークシートⅣ】〈学習を終えて〉

「荒城の月」と「早春賦」を歌唱する学習の全体を振り返って、歌詞の内容、曲想、リズム（拍子）、速度、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱などに触れながら、学習したことについて書きましょう。

「荒城の月」と「早春賦」の2曲を歌ったことで、拍子や旋律の音のつながりによって、音楽の雰囲気が大きく変わることがわかりました。また、歌詞の内容を想像しながら、作曲者が書いた記号に気をつけながら、その曲に合った速度やフレーズ、強弱を工夫して歌うと、歌詞や音楽をつくった人の気持ちと、同じ気持ちになれて歌うことができたと思いました。

「努力を要する」状況(C)への支援

- ・「荒城の月」や「早春賦」を、言葉のまとまりとは異なる位置でブレスをして歌ったり、速度を極端に変えて歌ったりした演奏を聴かせ、そのことによって感じる違和感などについて対話し、歌詞と旋律との関係や音楽を形づくっている要素の働きなどについて興味をもてるようにする。

「おおむね満足できる」状況(B)と

判断するポイント

- ・「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や味わいに関心をもち、自分が知覚・感受したことや他者の気付きなどを基に、どのように歌うかについて考えたり他者と共に歌い試したりしようとしている様子が、本題材の学習を通じて見て取れたか。
- ・学習全体を振り返って、自分が学んだことについて、授業での学習内容を踏まえて書いているか。



④記録に残す評価の総括方法について

《知識・技能》

表現領域においては、本事例のように、「知識」の習得に関する評価規準(知)と「技能」の習得に関する評価規準(技)を設定し、それぞれについて評価した上で、「知識・技能」の評価として総括します。

題材単位では、その学習内容等によって知識と技能とに軽重を付けることも考えられますが、その際は、一方に著しく偏ることがないようにすること、また年間を通じて知識と技能がバランスよく育成されることなどに留意する必要があります。なお、鑑賞領域のみで構成した題材では、学習指導要領に「技能」に関する指導事項を示していないため、《知識・技能》の観点の評価は、「知識」のみの評価で総括することとなります。

《思考・判断・表現》

本事例では、「思考・判断・表現」について、一つの評価規準を設定しているため、その評価が総括の評価結果となります。題材によっては、思①(〔共通事項〕アに関すること)、思②(〔共通事項〕アを支えとして、音楽表現を創意工夫したり味わって聴いたりすること)などのように、二つの評価規準を設定することも考えられます。

《主体的に学習に取り組む態度》

本事例では、「主体的に学習に取り組む態度」について、一つの評価規準を設定しているため、その評価が総括の評価結果となります。